

本丸だより

令和3年度 第10号 令和4年1月28日(金)
新発田市立本丸中学校
新発田市緑町2-7-22
TEL 0254-22-2525
FAX 0254-22-0342
<https://honmaru.shibata.ed.jp/>



未来を創る ～ 一步を踏み出そう ～

校長 三浦 学

新年が明けて、はや一月となります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。新型コロナウイルスの第6波も始まりましたが、命と健康、安全を守ることを最優先に、3年生の受験等への影響が最小限にとどまるよう諸活動を慎重に進めてまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

始業式では、3学期のスタートに当たり生徒に標記の題で次のような話(抜粋)をしました。

年が明けて急激に感染拡大し始めています。これからもかけがえのない大切な命、自分の命、友達の命、ご家族の命を守っていけるよう感染対策も徹底し、皆で乗り越えていきましょう。

年末年始、色々なスポーツの試合がありました。その一つが、高校バスケットボールの全国大会です。優勝校は福岡大学附属大濠高校です。ヤフーのコメントにこんな声が寄せられていました(抜粋)。「大濠はスポーツクラスがないので、バスケ部の子も進学クラスに在籍しています。彼らは教室では明るく優しい努力家で、クラスの雰囲気もいいそうです。勉強と集団生活の学びの上に部活がある、という大濠高校の考え方が素晴らしいと思います」という内容でした。

以前、日比谷高校の、行事を最後まで頑張り、人間力を上げた生徒は学力も伸びるという話や「受験は団体戦」という話をしました。大濠高校も、やはり勉強やクラスなど集団生活での学びを大切にしているからこそ勝ちきれんだなあ、と納得しました。

「学び」という言葉がありましたが、では、皆さんは、なぜ学ぶのでしょうか。いろんな言い方ができると思います。ある人は、それは「未来をつくる」ためだと言います。例えば、スマホです。今の大人が子どもの頃、昔はそれぞれで楽しんだ音楽や雑誌、ゲームなどが今はスマホ1台で楽しめます。では、「スマホのある未来」を、昔、創ったのは誰でしょうか。その一人はニュートンです。その有名な法則がなければ人工衛星が回ることも、スマホの地図アプリなども生まれてきませんでした。ニュートンは、中学校に入学した時の成績は学年で下から2番目だったそうで、ケンカした友人を見返そうと猛勉強して勉強ができるようになったそうです。そして、「スマホのある未来」を創ってくれました。(参考図書 瀧本哲史著『ミライの授業』)

私立高校の入試が始まり、来月3、4日は定期テストです。福大大濠や日比谷高校、ニュートンのように、よき仲間と、学ぶ雰囲気のあるクラス、集団をつくって大いに勉強し、学び、自分の人生、社会の未来を創ってほしいと願っています。部活動に高いレベルで取り組み、人間力を高めている皆さんだからこそ、勉強、学習する力も高め、将来、仕事についても学ぶことができ、社会で活躍し、幸せになれるようにと願っています。皆さんが、3学期、そして今年を、未来をつくる第一歩にしていられることを期待しています。皆でいい年にしていきましょう。

永守重信さん(日本電産会長)は言います。「苦しみがあれば、そのあとには必ず喜びがやってくる。困難や逆境のなかにいるときこそが、飛躍のチャンス。一度経験した困難は確実に血肉となり糧となって、以降の成長を支えてくれる。最後にものをいうのは努力、(金タリ手では)練習量であり、それを支える気概と執念である。全力で逆風に立ち向かい、それを乗り越えたとき、私たちは大きな力をつけて、輝かしい未来へとさらなる一步を踏み出すことができる」と。(『成しとげる力』より)。保護者、ご家族、地域の皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。

